

新発田市租税教育推進協議会長賞

消費税は必要だ

新発田市立 紫雲寺中学校 三年 吉田 潤 大 さん

皆さんは今、日本の税金は何種類あるか知っていますか。今日本の税金は約五〇種類あると言われていています。そのうち僕が知っている税金は三種類ぐらいだと思います。それは、消費税、所得税、法人税ぐらいです。こんな税について全く知らない僕ですが、税についてもっと詳しく知りたいなと思えるような出来事がありました。

それは四年前の二〇一九年一〇月、当時僕が小学五年生の頃に消費税が八パーセントから一〇パーセントに上がりました。友達と一緒にコンビニに行ったら八パーセントから一〇パーセントになったことでいつもより商品の値段が上がってたり、会計の時少し高くなったなーと感じるようになりました。そこで「税ってなんだろう」と思いました。

消費税で言うと、三パーセント、五パーセント、八パーセント、一〇パーセントと年々上がっていっています。この調子で一五パーセント、下手したら二〇パーセント近くまで上がるのでしょうか。そもそも八パーセントから一〇パーセントに上がった理由は何でしょうか。

ネットで調べてみたところ社会保障制度自体を維持するための安定的な財源を確保するために消費税一〇パーセントへの引き上げが決まっらしいです。主に年金や医療費などのことを言います。僕は八パーセントから一〇パーセントになった時、「少しでもお金を多く払うのは嫌だなあ」とそんな風にしか考えていませんでした。

けれど僕も少し公民の勉強したりしたので、消費税の大切さを学びました。この消費税をなくしてしまうと、世の中の色々なことが回らなくなっていくと思います。だから僕は、消費税と言うものは大切だと思います。

アメリカやヨーロッパのほとんどの国々は消費税が二〇パーセントを超えています。フィンランドの消費税はなんと二四パーセントですが、その分福祉が充実していたり、大学までの学費が無料なんてこともあります。

日本も、この先もう少し消費税が上がるんじゃないかなと僕は思っています。でもそれは必ず政府が国のためにしているのであって、その増税のおかげで、必ず助かっている人がいるのです。だから消費税を増税する事は自分を助けてくれる事はもちろん、ときには、他の人のことを助けることができると思います。

消費税は廃止した方が良くと言う声を聞いたことがあります。そしたら消費税で得た財源がなくなってしまうことになります。そしたらその財源をどうやって確保するのか、とても難しい話だと思います。皆さんの安全な生活を守るために、消費税は絶対に必要だと僕は思います。